

例会報告 Rotary



米山奨学委員会

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 下屋勝比古
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 塚本 直人
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 挾土 貞吉

世界に希望を生み出そう

<会長の時間>

誕生日は、生きている限り1年に1歳加算される記念日です。初めての1歳誕生日に始まり、七五三、成人式、色々記念する年齢がありますが、明日は私の「還暦（かんれき）」60歳のお祝いです。60歳還暦祝いには中国で発祥して、奈良時代に日本に伝わったといわれています。はじめは、貴族だけのものでしたが、室町時代から江戸時代にかけて民間にも広まったようです。還暦の意味は、日本でもおなじみの十二支（じゅうにし）と、「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の十干（じっかん）を組み合わせた、干支（かんし／えと）が関係しています。十二支と十干の組み合わせは60種類にもおよび、人間が生まれてから60年経つと、この60種類の干支が一巡します。今年「甲辰（きのえたつ）」なので、昭和39年がそうであったことから「生まれたときと同じ暦に還る（赤ちゃんに還る）」という意味で「還暦」と呼ぶようになりました。本来であれば数え年で61歳になったときですが、最近では満60歳になる誕生日にお祝いするケースが増えています。



では、なぜ「還暦といえど赤いちゃんちゃんこ」なのでしょう？その理由は、赤い色に「魔除け」の力があり、ちゃんちゃんこが赤ちゃん用の羽織だったからです。飛騨の民芸品の「さるぼぼ」も同じ意味ですね。人生50年の時代に60歳は相当な長寿だったので、大いにお祝いをしたんですけど、今では古希、傘寿、白寿など100歳時代ですので、「生まれたときと同じ暦に還る（赤ちゃんに還る）」という意味よりも、定年までの労をねぎらい、「これからまだ働け」という意味に変化して同窓会にみんなを集めるネタになります。「花より団子」赤いちゃんちゃんこは記念撮影用ですので、皆様から愛のこもったプレゼントを心よりお待ちしております。

さて、今年の夜祭は、中橋をスタートして本町通を北上し安川交差点から東進し、上二之町を通り市政記念館前で曳別れとなります。「遅くまで夜祭を行わないように！」と警察からの通達で午後10時には屋台蔵に入るようになっています。屋台の横での飲酒も制限されます。祭りも警察や観光課の言うことを聞かなくてはならなくなってきたようです。私は、今日のお弁当の「冬頭屋」さんの関係で麒麟臺に25年以上かかわっています。きっかけはさておき、麒麟臺は彫刻の名工「谷口与鹿」の「唐子群遊（からこぐんゆう）」と呼ばれる白木彫刻が素晴らしい屋台です。中でもわずか5cmの板をくり抜き、透かし彫りの技法でかごの中に鶏が掘ってあり、犬の鎖はつなぎ目なく彫ってあるため動きます。組にいても触れないですが、素晴らしい精巧な彫刻です。屋台を一周すると物語が表現されており、子供の表情がどの方向からも立体的に見ることができる驚きの技法です。中段にはや村山群鳳による飛龍の彫刻が10個あり、それぞれが表情の異なる素晴らしい彫刻です。また車輪は外御所車の形態で鉄の枠がはめてありま

す。高山祭屋台の中でも特にきれいな屋台です。屋台の後方には「見送り幕」が掛けてあります。麒麟臺の見送りは、一人の子供が遊んでいて、村では大切な水がめに誤って落ちた。みんなが慌てて騒いでいるととにかく急いで助けるのが先ということで、水がめを割って、中の子供を助けた。「器は人命より軽し」「かめ」は財産を表す大切なものであるけど、それよりも尊いのは人の命であるということを示しています。今年の春祭りは、ぜひ麒麟臺へお越しください、夜祭では、私にひと声かけていただけると嬉しいです。

最後に、4月7日に、台北東海RCの小川会長へ2610地区からの感謝状を手渡してきました。1時間以上いろいろお話をさせていただきました。来年の訪問をお約束しましたので、ぜひ皆さんで行きたいですね。

<幹事報告>

◎ガバナー、ガバナーエレクト、地区会員増強委員長より

・次期会員増強ラーニングセミナー開催のお知らせ

日時 5月11日（土）
10:30点鐘 14:50 終了

場所 岐阜グランドホテル

出席要請者 次期会長、次期幹事、次期会員増強関連委員長、（入会3年未満の）新会員 等

◎ガバナーより

・ガバナー事務所、地区大会事務所、地区事務所GW休暇のお知らせ
5月1日（水）～5月6日（月）緊急連絡先 地区代表幹事

◎台北東海ロータリークラブより

・台湾東部地震についてご報告

<例会変更>

可 見 … 4月18日（木）は、休会
4月25日（木）は、鈴川にて
5月 2日（木）は、定款により休会
5月30日（木）は、定款により 休会

<受贈誌>

高山RC（会報）、下呂RC（会報）

<出席報告>

出席者数	会員数	出席率
22名	37名	62.86%

例会報告

<本日のプログラム> 米山奨学委員会



委員長 斎藤 章

本日は米山奨学委員会の担当例会です。4月7日、名古屋で行われた2024-2025年度の2630地区の米山記念奨学委員会のカウンセラー研修会へ伊藤さんの代理で出席してきました。4年前にも奨学生を受け入れました。この時のカウンセラーも伊藤さんでした。この飛騨地区には、大学がないため過去

には受け入れていませんでした。今回2度目の受け入れとなり、今年度・次年度にわたる事業ですが1年間宜しくお願い致します。

米山奨学制度は、日本で最初に設立された東京 RC の初代会長の米山梅吉さんの創立者としての名前のもと事業が立案され、世話クラブ制度、カウンセラー制度、米山功労者制度等を経て1989年から現在に至っております。日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。毎年の事業は、14億円もの寄付金収入で行われております。学部・修士・博士課程の奨学金が9割をしめております。

本年度、当クラブ含めて2630地区において十数名の奨学生がおり、中国、ベトナム、ネパール、ミャンマー、インドネシア、マレーシアの各国から来日して四日市大学、鈴鹿大学、三重大学、岐阜大学、中部学院大学にそれぞれ在籍しております。当クラブはミャンマーからピョー パイ さん を受け入れます。28歳の男性で中部学院大学短期大学部/短大過程/社会福祉を学んで介護福祉事業に頑張っております。日本語もミャンマーで勉強・努力され堪能です。将来は、日本で働きたい希望もあるそうです。

前回の奨学生のメイ・スイートさんは、コロナ、ミャンマーの政情不安もあり岐阜大学システム工学部の卒業が遅れ、9月までの授業代も含めて高山地区の3クラブ合同の支援金をお送りして無事大学卒業された記憶も残っております。

いずれにしても、寄付事業でありますので3万円の準米山功労者、10万円の第1回米山功労者、2回以上の米山功労者マルチプルなどありますので、今年度も寄付よろしくお願いたします。なお、当クラブ独自の米山協力者制度もあります。併せて宜しくお願い致します。

米山奨学カウンセラー 伊藤 松寿

米山奨学生のパイさん、今回、無事来訪となりました。クラブの皆さんの暖かい歓迎、心より感謝申し上げます。



ミャンマー出身のピョーパイさんは中部学院大学短期大学部2年生です。

米山奨学金をお渡ししました。1年間よろしくお願いたします。



<ニコニコボックス>

●下屋 勝比古さん、塚本 直人さん

ようやく桜が咲き始めました。春の高山祭は満開の桜の中で開催できるかもしれません、楽しみです。本日は米山奨学委員会担当例会です。奨学生のピョーパイさんのご来訪を歓迎いたします。1年間よろしくお願いたします。

●斎藤 章さん

本日は米山奨学委員会の担当例会です。奨学生としてピョーパイさんをお迎えしました。1年間よろしくお願申し上げます。

●伊藤 松寿さん、内田 幸洋さん

ピョーパイさん、内戦下のミャンマーからようこそお越し下さいました。大変ですけど頑張ってください。

●米澤 久二さん

明日は待望の地区研修協議会です。参加の皆様お世話になります。来期の高山西クラブの方針を作成する一助になるかと思ひます。なお、帰りは郡上で吉田屋のうな井です。ご期待下さい。

●下屋 勝比古さん

激動の50代が今日で終わり明日から花の60代に突入します。きれいな花が咲かせられる様更に精進します。水梨さんイメチェンに協力ありがとう！

●佐藤 貴史さん

先日は妻の誕生日にお花をいただきありがとうございました。4月10日当日、妻から電話があり「あんたからは何ももらってないけど、ロータリーからプレゼントもらったよ」と嫌味を言いつつも非常に喜んでいました。今後共夫婦共々よろしくお願いたします。

●田近 毅さん、古橋 直彦さん、田中 武さん、中島 一成さん、堀 幸一郎さん、宮川 学さん

高山でもやっと桜が咲き始めました。雨の降ることが多いと言われる、春の高山祭「山王祭」ですが、今年は天気も大丈夫な様です。桜咲く中橋を渡る屋台を見るのが楽しみです。麒麟台には下屋会長も参加されます。応援に行きましょう！

人間力を高める

第28回

堀 幸一郎

「人間力を高める」～社会を構成し運営するとともに自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を高める～

人間力を高める一番の近道は、人間力の高い集団に自ら身を置く事だと思ひます。

私事で恐縮ですが、野球に明け暮れた高校球児が上京し、いきなり一般社会人として働き始めたのが今から41年前の事です。就職したのは当時の東証一部上場会社でしたので社員は多く、同期入社の高卒、短大卒、大卒の新入社員は合わせて数百人いました。

今でも鮮明に覚えています。社員の大半は大卒で名門校出身者ばかりでした。学歴で人を判別するのは如何なものかと思ひますが、確かにあの会社の人たちは有能で人としても素晴らしい方々でした。私はお世辞にも有能な社員とは言えませんが、その方々に、ご指導頂き私生活も含め多大な影響を受け、社会人としての礎を築き今に至っております。

私が人間力を語る事自体、おこがましい事ですが、人間力を高めるためには長い時間が必要なのです。

コロナ禍でITの進化が加速し、オンライン上で人と会う事が多くなりました。またコロナ明けで直接会うことも同じくらい多くなっています。これからは人間力を高め続けるにはこれら全てを受け入れ同じ進化を共有する仲間を作ることが大切だと思ひます。グローバルに展開する組織であるロータリークラブは最適な場所だと思ひませんか？